

成果指標				
成果指標	介護相談員による介護保険事業所への訪問回数			
指標設定の考え方	介護保険事業所の状況等の把握のためには、介護相談員の訪問回数が多ければ多いほど状況把握ができるため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	8	8	0	0
実 績	8	8	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設利用者から直接施設のサービス内容を聞くことができるので、今後も必要な事業。相談員は話しかけやすい利用者しか話しかけないことや、介護はできないので接し方に戸惑う相談員もいて研修によるスキルアップが必要と感じる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	サービス利用者の疑問等の解消を図り、併せて介護サービスの質の向上を図るためには必要な事業である。新年度から介護相談員が増える予定となっており、さらに介護サービスの質の向上につながることを期待する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題